

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

A 日本映画の発見V: 栄光の'50年代(1)

Rediscovering Our National Film Heritage (V):
The Glorious 1950s - Part 1

4月6日火-6月5日土

展示室(7階)

所蔵作品展 現代世界のポスター

Contemporary Posters from Museum's Collection

3月16日火-5月1日土

所蔵作品展 写真再発見

Exploring Photography

5月11日火-7月10日土

●4月-5月の休館日:日曜日・月曜日

*5月4日(火)~5月8日(土)は展示室を休室します。

*上記の展示室休室中も大ホールの上映は行ないます。

大ホール

料金=一般410円／学生250円／小人180円

定員=310名

発券=2階受付

●観覧券は当日・当該回にのみ有効です。

●発券・開場は開映の30分前から行ない、定員に達し次第締切となります。

●開映後の入場はできません。

●各回入替制です。

展示室

料金=一般100円(50円)／学生40円(20円)／小人20円(10円)

*()内は20名以上の団体料金

開室=休館日、休室日以外の火曜日～土曜日

(午前10時30分～午後6時／入場は5時30分まで)

図書室(4階)

開室=休館日、休映日、祝日、臨時休室日以外の火曜日～金曜日

(午前10時30分～午後6時／入室は5時30分まで)

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



1999
4-5

NFCカレンダー
99年4月-5月号

大ホール 上映作品

日本映画の発見V: 栄光の'50年代 (1) Rediscovering Our National Film Heritage (V): The Glorious 1950s - Part 1

日本の映画遺産をその無声期から現在まで辿るとするフィルムセンターの長期上映企画「日本映画の発見」も、いよいよ第V期「栄光の'50年代」を迎えます。

1950年代は、1952年4月の対日講和条約発効に前後して、いわゆる「占領下のNIPPON」という時代が終わり、わが国が本格的な伸長をめざそうとする時代でした。

映画産業もさうした新生の時代にふさわしく発展し、また、人々の復興への努力を鼓舞するかのように、「国民娯楽の王者」の地位を謳歌することになります。さらにそれは、日本映画史にとって、1951年のヴェネチア国際映画祭での「ラショウモン・ショック」に始まる、芸術的栄光の10年でもありました。この時代に世界から絶賛を浴びた黒澤明、溝口健二ら巨匠による数々の名作は、現在、国境を越えた古典としての評価を擡るぎないものとしています。

10月まで3期・130日間にわたって続く大型番組となる本特集では、戦後日本映画の黄金時代を飾るにふさわしい多くの代表作、話題作を80本以上、上映していく予定です。今回の第1期では、「羅生門」を皮きりに、1950年から1953年までに製作されたバラエティ溢れる作品群を30本上映いたします。

世界映画史に大書される日本映画の栄光の軌跡をご堪能ください。

■監督・演出 原案=原作・原案 脚本=脚本、脚色、シナリオ 撮影=撮影 美術=美術 音楽=音楽 出演

■本特集には不完全なプリントが含まれています。

■記載した上映分數は、当日のものと多少異なることがあります。

*「日本映画の発見V: 栄光の'50年代」は3部構成となり、今回の第1期に統いて、第2期は6月15日～7月10日／7月20日～8月14日、第3期は8月24日～10月23日に開催します。第2期・第3期の詳細は、「NFCカレンダー」6～8月号と「NFCカレンダー」9～10月号に掲載されます。

A-1 4/6(火)3:00pm 4/27(火)6:30pm 5/18(火)3:00pm

羅生門 (88分・35mm)

51年のヴェネチア国際映画祭グランプリに輝き、黒澤明の名を世界に知らしめた名作。英サイト＆サウンド誌(以下、S&S)の92年「映画史上の作品トップテン」(監督による選出部門)で、第9位にランクされた。

'50(大映)監黒澤明 芥川龍之介脚本宮川一夫
原松山崇 草坂文雄 三船敏郎、京マチ子、志村喬、森雅之、千秋実、上田吉二郎、本間文子、加東大介

A-2 4/6(火)6:30pm 4/27(火)3:00pm 5/18(火)6:30pm

シミキンの無敵競輪王 (85分・16mm)

主演の清水金一は浅草オペラの名優清水金太郎の門下。古川緑波の笑いの王国などで活躍し戦前から軽演劇界の人気ものだった。映画出演は戦後の川島雄三監督の諸作で知られているが、この作品も本格的な主演作の一つである。

'50(東宝)監西村元男脚板谷泉、馬場和夫脚本悠六介
会田吉男 小川一男池譲 清水金一、柳家金語楼、渡邊篤、小林十九二、三木のり平、昔々亭桃太郎、服部哲治、朝霧鏡子、飯田蝶子、佐久間三千代

A-3 4/7(水)3:00pm 4/28(水)6:30pm 5/19(水)3:00pm

細雪 (141分・35mm)

モダンな作風で知られる巨匠、阿部豊監督が本格的に手かけた文芸大作。谷崎潤一郎の同名ベストセラーアート小説の映画化。蔵岡家の四姉妹に花井蘭子、轟夕起子、山根寿子、高峰秀子を配して風格ある作品に仕上げている。

'50(新東宝)監阿部豊 谷崎潤一郎脚八住利雄
山中進 進藤誠吾 草坂文雄 花井蘭子、轟夕起子、山根寿子、高峰秀子、伊志井寛、河津清三郎、田中春男、田崎潤、藤田進、堀雄二、鳥羽陽之助、香川京子

A-4 4/7(水)6:30pm 4/29(木・祝)1:00pm 5/19(水)6:30pm

どっこい生きてる (102分・35mm)

1950年代はわが国の映画産業の全盛期であり、大手製作会社による量産態勢が確立されていく一方、これらに対抗する「独立プロ」運動も盛んであった。これはその代表作の一つで、今井正監督が貧しい人々の姿をリアルに描いている。

'51(新星映画社=前進座)監今井正 岩佐氏寿、平田兼三 宮島義勇、中尾駿一郎、植松永吉 久保一雄 大木正夫 河原崎長十郎、中村貞右衛門、河原崎国太郎、河原崎しづ江、飯田蝶子、岸旗江、木村功

A-10 4/10(土)4:00pm 5/4(火・祝)4:00pm 5/25(火)6:30pm

治郎吉格子 (100分・35mm)

サイレント期の名作「御逃次郎吉格子」を伊藤大輔が自らマイクした作品。江戸から大阪に逃亡中の鼠小僧治郎吉に長谷川一夫が扮し、高峰三枝子、岸恵子と情緒たっぷりの恋模様が繰り広げられる。

'52(松竹)監伊藤大輔 吉川英治 石本秀雄 角井平吉 深井史郎 長谷川一夫、高峰三枝子、岸恵子、進藤英太郎、河野秋武、市川小太夫、山路義人、谷晃、葉山富之輔、大友富右衛門、小林重四郎

A-5 4/8(木)3:00pm 5/1(土)1:00pm 5/20(木)3:00pm

愛妻物語 (97分・35mm)

すでにシナリオライターとして地歩を固めていた新藤兼人の第一回監督作品。妻に支えられた自分の修行時代を描いたもので、ひたむきな描写が感動を呼んだ。妻を演じた乙羽信子は後に実生活でも彼の伴侣となる。

'51(大映)監新藤兼人 竹村康和 水谷浩 木下忠司 乙羽信子、宇野重吉、大河内傳次郎、菅井一郎、滝沢修、香川良介、英百合子、清水将夫、殿山泰司、原聖四郎、大美輝子、玉置一恵

A-11 4/13(火)3:00pm 5/8(土)1:00pm 5/26(水)3:00pm

激流 (96分・35mm)

ダムの建設現場に有能な青年技師があらわれた。仕事を遅らせて利益を得ようとする悪徳グループにとって、猛然と仕事を進める彼の登場は邪魔だった。山岳アクション得意とする「銀嶺の果て」の谷口千吉監督作品。

'52(東宝)監谷口千吉 西亀元貞 山田一夫 北辰雄 伊福部昭 三船敏郎、久慈あさみ、若山セツ子、田代百合子、島崎雪子、清水将夫、高堂國典、佐々木孝丸、小杉義男、多々良純、澤村貞子

A-6 4/8(木)6:30pm 4/28(水)3:00pm 5/20(木)6:30pm

雪割草 (100分・35mm)

田坂具隆監督の戦後第二作。子供のいない平凡な夫婦の前に突然現われた夫の隠し子。妻の心は激しく乱れていく。最初のインド国際映画祭で「羅生門」「自転車泥棒」とともに上映され高い評価を得た。

'51(大映)監田坂具隆 山崎謙太 伊佐山三郎 柴田篤二 薩藤一郎 水戸光子、宇佐美諱、三條美紀、伊庭輝夫

A-12 4/13(火)6:30pm 5/1(土)4:00pm 5/26(水)6:30pm

原爆の子 (95分・35mm)

吉村公三郎と新藤兼人が中心となって設立した独立プロ、近代映画協会の第一回自主製作作品。アメリカ軍による原爆投下がもたらした悲惨な姿を現地広島にさぐり、54年のカルロヴィ・ヴァリ映画祭で平和賞を受賞した。

'52(近代映画協会=劇団民芸)監新藤兼人 伊藤武夫 丸茂孝宣 伊福部昭 乙羽信子、瀧澤修、清水将夫、宇野重吉、山内明、多々良純、下元勉、大瀧秀治、芦田伸介、東野英治郎、寺島雄作、殿山泰司

A-7 4/9(金)3:00pm 5/4(火・祝)1:00pm 5/21(金)3:00pm

大江戸五人男 (132分・35mm)

歌舞伎でお馴染みの町奴、幡隨院長兵衛と旗本、水野十郎左衛門の物語をもとに伊藤大輔が悠々と描いた松竹創立35周年記念の大作。阪東妻三郎と市川右太衛門という戦前からの時代劇スターの共演も話題を呼び大ヒットした。

'51(松竹)監伊藤大輔 寺尾不二、柳川真一、依田義賢 石本秀雄 角井平吉 深井史郎 阪東妻三郎、市川右太衛門、山田五十鈴、高峰三枝子、月形龍之介、高橋貞二、高田浩吉、河原崎禪三郎

A-13 4/14(水)3:00pm 5/15(土)1:00pm 5/27(木)3:00pm

西鶴一代女 (136分・35mm)

52年ヴェネチア国際映画祭に出品され国際賞を得て、溝口健二にとって世界の映画シーンへのデビュー作となつた(英語ではThe Life of OharuまたはDiary of Oharuとして知られる)。田中綱代の名演。

'52(新東宝=児井プロ)監溝口健二 井原西鶴 依田義賢 平野好美 水谷浩 齋藤一郎 田中綱代、山根壽子、三船敏郎、宇野重吉、菅井一郎、進藤英太郎、大瀧秀治、芦田伸介、東野英治郎、寺島雄作、殿山泰司

A-8 4/9(金)6:30pm 5/5(水・祝)1:00pm 5/21(金)6:30pm

おかあさん (98分・35mm)

クリーニング屋一家を襲う数々の不幸。長男や働き頭である父の死といっ出来事を淡々と描き、母や娘たちの静かな立ち振舞いのなかにその悲しみをにじませる成瀬巳喜男ならではの小市民映画。

'52(新東宝)監成瀬巳喜男 水木洋子 鈴木博 鈴木博 依田義賢 齋藤一郎 田中綱代、香川京子、岡田英次、片山明彦、加東大介、三島雅夫、中北千枝子、三好榮子、一の宮あつ子、本間文子、澤村貞子

A-14 4/14(水)6:30pm 4/30(金)3:00pm 5/22(土)1:00pm

足にさわった女 (84分・35mm)

サイレント時代の名作として知られる阿部豊作品のリメイク。市川崑監督はこの戦後版をスピードーな喜劇としてつくりあげている。市川監督にとって越路吹雪の「すっとぼけた」個性をどこまで生かせるかが課題であつた。

'52(東宝)監市川崑 沢田扶松 和田夏十 安本淳 河東安英 黎敏郎 池部良、越路吹雪、山村聰、藤原釜足、見明凡太朗、伊藤雄之助、岡田茉莉子、沢村貞子、加東大介、村上冬樹、高塙國典

A-9 4/10(土)1:00pm 4/30(金)6:30pm 5/25(火)3:00pm

とんかつ大将 (94分・35mm)

「とんかつ大将」と呼ばれる人気ものを描いた川島雄三の松竹作品。青年医師である彼はある財界人の御曹司だが、自由を求めて気楽な長屋住まいの日々を送っていた。ある日、キャバレー建設のために立ち退き問題が持ちあがる。

'52(松竹)監川島雄三 富田常雄 西川亨 逆井清一郎 木下忠司 佐野周二、津島恵子、角梨枝子、高橋貞二、幾野道子、坂本武、三井弘次、小園蓉子、徳大寺伸

A-15 4/15(木)3:00pm 5/6(木)6:30pm 5/27(木)6:30pm

二人の瞳 (81分・35mm)

ハリウッドの子役スターだったマーガレット・オブライエンと当時人気絶頂の天才少女歌手、美空ひばりの共演で話題となった作品。日本に駐在する父を訪ねてきたアメリカの少女と、戦争孤児を率いる日本の少女の友情が描かれる。

'52(大映)監仲木繁夫 小国英雄 高橋通夫 高橋康二 万城目正 マーガレット・オブライエン、美空ひばり、三浦光子、ジョン・H・ノートン、中村哲、渡辺鉄彌、齋藤暁朗、赤野庫太郎、杉狂児

A-16 4/15(木)6:30pm 5/6(木)3:00pm 5/29(土)1:00pm

本日休診(97分・35mm)

井伏鱒二の同名小説と「遙拌隊長」の二つの短篇をもとに渋谷実監督が卓抜な手腕を披露した風俗喜劇。脚本はペテランの斎藤良輔が担当している。休診中の医院を訪れる様々な人々の姿を通してそれぞれの「戦後」が風刺的に描かれていく。

'52(松竹)監・渋谷実脚・井伏鱒二脚・斎藤良輔監・長岡博之(美)浜田辰雄(吉)沢博(鶴田浩二、淡島千景、角梨枝子、柳永二郎、佐田啓二、三国連太郎、岸恵子、市川紅梅、田村秋子、中村伸郎、長岡輝子、十朱久雄

A-17 4/16(金)3:00pm 5/5(水・祝)4:00pm 5/28(金)3:00pm

あにいもうと(86分・35mm)

成瀬巳喜男監督、水木洋子脚本による名作の一つで、室生犀星の同名小説の二度目の映画化作品である。多摩川のほとりで漁業を営む一家の荒々しい兄と子供を宿して帰ってきた妹の激しい「愛」を描いている。周囲の人物をみつめる視線が特徴的。

'53(大映)監・成瀬巳喜男脚・室生犀星(水木洋子)脚・峰重義(仲美喜雄)脚・斎藤一郎(京マチ子、森雅之、久我美子、堀雄二、船越英二、山本禮三郎、浦邊条子、潮万太郎、宮嶋健一、河原侃二、山田禪二

A-18 4/16(金)6:30pm 4/29(木・祝)4:00pm 5/28(金)6:30pm

にごりえ(130分・35mm)

樋口一葉の短篇小説「大つごもり」「にごりえ」「十三夜」を原作とする文芸作品。今井正の抑制的のきいた演出で、明治の庶民の哀歎が描きだされている。この当時の文学座の名優たちが総出演している作品。

'53(文学座=新世紀映画社)監・今井正(樋口一葉)脚・水木洋子、井手俊郎(中尾駿一郎)脚・平川透徹(伊玖磨)脚・田村秋子、丹阿彌谷津子、久我美子、中村伸郎、竜岡晋、淡島千景、杉村春子、賀原夏子、山村聰

A-19 4/17(土)1:00pm 5/7(金)6:30pm 6/5(土)1:00pm

偽れる盛装(103分・35mm)

京都祇園を舞台に、人情にとらわれずドライに生きていぐ芸者の姿を、戦後的な「生=性」の在り方として強いタッチで描いた脚本=新藤兼人、監督=吉村公三郎の力作。溝口健二の名作「祇園の姉妹」(1936年)の戦後版ともいえる作品。

'51(大映)監・吉村公三郎脚・新藤兼人脚・中井朝一(水谷浩)脚・伊福部昭(京マチ子、藤田泰子、村田知英子、滝花久子、柳恵美子、橋公子、小林桂樹、河津清三郎、菅井一郎、進藤英太郎、殿山泰司

A-20 4/17(土)4:00pm 5/7(金)3:00pm 5/22(土)4:00pm

プーサン(97分・35mm)

横山泰三の時事漫画をもとにした世相風刺映画。市川崑監督の大膽な描写が注目され、その「知的資質」が全面的に発揮された作品である。伊藤雄之助が演じる主人公にはこの時期の不安定な日本人の姿が体現されている。

'53(東宝)監・市川崑脚・横山泰三脚・和田夏十脚・中井朝一(阿久根巖)脚・黛敏郎(伊藤雄之助、小泉博、小林桂樹、越路吹雪、杉葉子、八千草薫、菅井一郎、加東大介、木村功、藤原釜足、メリーロード、三好栄子

A-21 4/20(火)3:00pm 5/11(火)3:00pm 5/29(土)4:00pm

やっさもっさ(106分・35mm)

この時期好調の渋谷実監督の風俗喜劇。混血児問題に取り組む女性慈善事業家の妻と敗戦後虚脱状態に陥った夫を軸に、戦後社会にあらわれた諸問題を独特的の視点で風刺的に描いている。脚本は名コンビの斎藤良輔。

'53(松竹)監・渋谷実脚・獅子文六脚・斎藤良輔監・長岡博之(濱田辰雄)脚・黛敏郎(淡島千景、小澤榮、佐田啓二、桂木洋子、倉田マユミ、ボップ・ブース、ダニー・ウイリアムズ、高橋豊子、東山千榮子、山岡比佐乃

A-22 4/20(火)6:30pm 5/15(土)4:00pm 6/1(火)3:00pm

雨月物語(97分・35mm)

「西鶴一代女」に続いて2年連続でヴェネチア国際映画祭に出品され、サンマルコ銀獅子賞(金獅子賞は該当なし)を受賞し、溝口の名声を確立した作品。S&S誌のトップテン・ポールで、62年に4位、72年に9位。

'53(大映)監・溝口健二脚・上田秋成脚・依田義賢監・宮川一夫(伊藤薰朔)脚・早坂文雄(森雅之、京マチ子、水戸光子、田中綱代、小澤榮、青山杉作、羅門光三郎、香川良介、上田吉二郎、南部彰三、毛利菊枝

A-27 4/23(金)3:00pm 5/13(木)6:30pm 6/3(木)6:30pm

東京物語(136分・35mm)

S&S誌の92年「映画史上の作品トップテン」(批評家選出)で第3位(監督が選ぶ「世界の監督トップテン」で小津は第8位)にランクされる偉大な作品。「日本の家族制度はどう崩壊するか」(監督自身の言)を描く。

'54(松竹)監・小津安二郎脚・野田高梧監・厚田雄春(濱田辰雄)脚・高順(笠智衆、東山千榮子、原節子、杉村春子、山村聰、三宅邦子、香川京子、東野英治郎、中村伸郎、大坂志郎、十朱久雄、長岡輝子

A-17 4/16(金)3:00pm 5/5(水・祝)4:00pm 5/28(金)3:00pm

あにいもうと(86分・35mm)

A-23 4/21(水)3:00pm 5/11(火)6:30pm 6/1(火)6:30pm

煙突の見える場所(108分・35mm)

見る場所によっては四本にも一本にも見える巨大な「お化け煙突」。その下町の象徴を背景に、悲喜こもごもの戦後庶民の暮らしが描かれていく五所平之助作品。53年にベルリン国際映画祭で国際平和賞を受賞した。

'53(スタジオ・エフ・プロ=新東宝)監・五所平之助脚・椎名麟三脚・小國英雄脚・三浦光雄脚・下河原友雄(芥川也寸志)脚・田中綱代、上原謙、高峰秀子、芥川比呂志、関千恵子、花井蘭子、坂本武、田中春男

A-24 4/21(水)6:30pm 5/12(水)6:30pm 6/2(水)3:00pm

雁(104分・35mm)

戦中から戦後にかけて不調だった豊田四郎監督が、本来の文芸の手をかけて成功した作品。時代も落ち着きを取り戻しかけていた。成沢昌茂はお玉(高峰秀子)に焦点をしぼり、森鷗外の原作を巧みに脚色している。

'53(大映)監・豊田四郎脚・森鷗外脚・成澤昌茂脚・三浦光雄脚・伊藤薰朔脚・伊藤雄之助・高峰秀子、芥川比呂志、宇野重吉、東野英治郎、飯田蝶子、田中榮三、浦邊条子、小田切みき、三宅邦子、伊達正

A-28 4/23(金)6:30pm 5/13(木)3:00pm 6/4(金)3:00pm

日本の悲劇(116分・35mm)

戦後の混亂期を懸命に生きぬいた母、その母の生き方に批判的な子供たち。母の心情的主觀と子供たちに表れる戦後の現実が対比的に描かれた木下恵介作品。「抒情派」木下とは異質の非情な視点が特徴的である。

'53(松竹)監・木下恵介脚・楠田浩之脚・中村公彦(木下忠司)脚・望月優子、桂木洋子、田浦正己、佐田啓二、高橋貞二、上原謙、淡路恵子、高杉早苗、日守新一、須賀不二夫、多々良純、柳永二郎、北林谷榮

A-25 4/22(木)3:00pm 5/8(土)4:00pm 6/2(水)6:30pm

吹けよ春風(82分・35mm)

車のバック・ミラーに映る様々な人生の断片を、タクシードライバー、三船敏郎がみつめている。貧しい少年たちを乗せたことや家出娘を諭したこともある…。脚本=黒澤明、監督=谷口千吉の名コンビの作品。

'53(東宝)監・谷口千吉脚・黒澤明脚・飯村正幸脚・小川一男(芥川也寸志)脚・三船敏郎、山根壽子、越路吹雪、岡田茉莉子、三好栄子、島秋子、青山京子、山村聰、三国連太郎、小林桂樹、藤原釜足、小泉博

A-29 4/24(土)1:00pm 5/14(金)3:00pm 6/4(金)6:30pm

源氏物語(123分・35mm)

大映創立十周年記念作品。主役の光源氏に長谷川一夫を配し、新藤兼人(脚本)、吉村公三郎(監督)のコンビがわが国古典文学の代表作に挑戦した。撮影の杉山公平はこの作品で1952年カンヌ国際映画祭撮影賞を獲得した。

'51(大映)監・吉村公三郎脚・新藤兼人脚・杉山公平(水谷浩)脚・伊福部昭脚・長谷川一夫、京マチ子、大河内傳次郎、木暮實千代、水戸光子、乙羽信子、堀雄二、本間謙太郎、菅井一郎、進藤英太郎、小澤榮

A-30 4/24(土)4:00pm 5/14(金)6:30pm 6/5(土)4:00pm

夜明け前(142分・35mm)

原作は島崎藤村の代表作。木曾馬籠の庄屋、青山半蔵の半生をとおして幕末から明治維新的歴史が描かれるスケールの大きな小説を、吉村公三郎が格調たかく映画化した。劇団民芸が総出演している。

'53(近代映画協会=劇団民芸)監・吉村公三郎脚・島崎藤村脚・新藤兼人脚・宮島義勇脚・丸茂孝脚・大澤壽人脚・滝澤修、乙羽信子、伊達信、細川ちか子、小夜福子、山内明、清水将夫、宇野重吉、菅井一郎



東京物語

図書室カレンダー

太字は休室日

4月

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30

5月

1		
2	3	4
5	6	7
8	9	10
11	12	13
14	15	16
17	18	19
20	21	22
23	24	25
26	27	28
29	30	31

1999
4-5
大ホール日本映画の発見V:
栄光の'50年代(1)

Rediscovering Our National Film Heritage (V): The Glorious 1950s - Part 1

日 月	火	水	木	金	土
4 月	A-1 羅生門 3:00pm (88分) 6	A-3 細雪 3:00pm (141分) 7	A-5 愛妻物語 3:00pm (97分) 8	A-7 大江戸五人男 3:00pm (132分) 9	A-9 とんかつ大将 1:00pm (94分) 10
	A-2 シミキンの 無敵競輪王 6:30pm (85分) 11	A-4 どっこい生きてる 6:30pm (102分) 12	A-6 雪割草 6:30pm (100分) 13	A-8 おかあさん 6:30pm (98分) 14	A-10 治郎吉格子 4:00pm (100分) 15
	A-11 激流 3:00pm (96分) 16	A-13 西鶴一代女 3:00pm (136分) 17	A-15 二人の瞳 3:00pm (81分) 18	A-17 あにいもうと 3:00pm (86分) 19	A-19 偽れる盛装 1:00pm (103分) 20
	A-12 原爆の子 6:30pm (95分) 21	A-14 足にさわった女 6:30pm (84分) 22	A-16 本日休診 6:30pm (97分) 23	A-18 にごりえ 6:30pm (130分) 24	A-20 ブーサン 4:00pm (97分) 25
	A-21 やっさもっさ 3:00pm (106分) 26	A-23 煙突の見える場所 3:00pm (108分) 27	A-25 吹けよ春風 3:00pm (82分) 28	A-27 東京物語 3:00pm (136分) 29	A-29 源氏物語 1:00pm (123分) 30
	A-22 雨月物語 6:30pm (97分) 21	A-24 雁 6:30pm (104分) 22	A-26 太平洋の鷺 6:30pm (119分) 23	A-28 日本の悲劇 6:30pm (116分) 24	A-30 夜明け前 4:00pm (142分) 25
	A-2 シミキンの 無敵競輪王 3:00pm (85分) 26	A-6 雪割草 3:00pm (100分) 27	A-4 どっこい生きてる 1:00pm (102分) 28	A-14 足にさわった女 3:00pm (84分) 29	A-5 愛妻物語 1:00pm (97分) 30
	A-1 羅生門 6:30pm (88分) 27	A-3 細雪 6:30pm (141分) 28	A-18 にごりえ 4:00pm (130分) 29	A-9 とんかつ大将 6:30pm (94分) 30	A-12 原爆の子 4:00pm (95分) 31
	A-7 大江戸五人男 1:00pm (132分) 4	A-8 おかあさん 1:00pm (98分) 5	A-16 本日休診 3:00pm (97分) 6	A-20 ブーサン 3:00pm (97分) 7	A-11 激流 1:00pm (96分) 8
	A-10 治郎吉格子 4:00pm (100分) 5	A-17 あにいもうと 4:00pm (86分) 6	A-15 二人の瞳 6:30pm (81分) 7	A-19 偽れる盛装 6:30pm (103分) 8	A-25 吹けよ春風 4:00pm (82分) 9
	A-21 やっさもっさ 3:00pm (106分) 11	A-26 太平洋の鷺 3:00pm (119分) 12	A-28 日本の悲劇 3:00pm (116分) 13	A-29 源氏物語 3:00pm (123分) 14	A-13 西鶴一代女 1:00pm (136分) 15
	A-23 煙突の見える場所 6:30pm (108分) 12	A-24 雁 6:30pm (104分) 13	A-27 東京物語 6:30pm (136分) 14	A-30 夜明け前 6:30pm (142分) 15	A-22 雨月物語 4:00pm (97分) 16
	A-1 羅生門 3:00pm (88分) 18	A-3 細雪 3:00pm (141分) 19	A-5 愛妻物語 3:00pm (97分) 20	A-7 大江戸五人男 3:00pm (132分) 21	A-14 足にさわった女 1:00pm (84分) 22
	A-2 シミキンの 無敵競輪王 6:30pm (85分) 19	A-4 どっこい生きてる 6:30pm (102分) 20	A-6 雪割草 6:30pm (100分) 21	A-8 おかあさん 6:30pm (98分) 22	A-20 ブーサン 4:00pm (97分) 23
	A-9 とんかつ大将 3:00pm (94分) 25	A-11 激流 3:00pm (96分) 26	A-13 西鶴一代女 3:00pm (136分) 27	A-17 あにいもうと 3:00pm (86分) 28	A-16 本日休診 1:00pm (97分) 29
	A-10 治郎吉格子 6:30pm (100分) 26	A-12 原爆の子 6:30pm (95分) 27	A-15 二人の瞳 6:30pm (81分) 28	A-18 にごりえ 6:30pm (130分) 29	A-21 やっさもっさ 4:00pm (106分) 30
	A-22 雨月物語 3:00pm (97分) 31	A-24 雁 3:00pm (104分) 32	A-26 太平洋の鷺 3:00pm (119分) 33	A-28 日本の悲劇 3:00pm (116分) 34	A-19 偽れる盛装 3:00pm (103分) 35
	A-23 煙突の見える場所 6:30pm (108分) 31	A-25 吹けよ春風 6:30pm (82分) 32	A-27 東京物語 6:30pm (136分) 33	A-29 源氏物語 6:30pm (123分) 34	A-30 夜明け前 6:30pm (142分) 35

展示室

所蔵作品展 現代世界のポスター

Contemporary Posters
from Museum's Collection

3月16日㈭~5月1日㈯

ポスターは、コミュニケーションの一手段でありながら、一方で広い画面を持った絵画的表現手段でもあるとい、極めてユニークな芸術表現の分野として注目されてきました。今回は当館の所蔵作品のなかから現代世界の代表的デザイナーの作品約65点を紹介するものです。

所蔵作品展 写真再発見

Exploring Photography

5月11日㈭~7月10日㈯

今日、表現手段として積極的に用いられる写真。その多様な表現は、空間や時間に対する写真固

有のアプローチに立脚しています。この展覧会は、そうした写真の特質とそれが可能にする表現の世界を、いくつかの切り口から探求するものです。

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:
都営地下鉄銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: NTTハローダイヤル 03-3272-8600
東京国立近代美術館ホームページ: <http://www.momat.go.jp/>

表紙: 西鶴一代女